

機体整備の技術競う



「安全線早より」で速さと正確さを競う学生
＝関市迫間、中日本航空専門学校

中日本航空専門学校でコンテスト

関市迫間の中日本航空専門学校で1日、第12回航空整備科技能コンテストが開かれ、同科で学ぶ1～3年生計約210人が機体整備の基本技術を競った。

航空整備士を目指す同科の学生を対象に整備技能の向上などにつなげてもらおうと毎年開催している。ANAやJALなど大手航空会社の航空機整備に携わる同校卒業生も参加した。

サンプル部品をノギスと

呼ばれる計測器で測る競技「ノギス早読み」やエンジンのボルトを針金で固定する技術を競技にした「安全線早より」など計6競技をチーム戦で実施。学生らは作業のスピードと正確さを競った。

同競技で優勝したOBでJALエンジニアリングの丹羽なつみさん(27)は「1年生でもきちんとできていて負けていけないなと思った」と笑顔を見せた。準

優勝した3年生の長谷川伊吹さん(20)は「何日も練習してきた。結果も出たのでよかった」と話した。

(榊原あやな)